

トマ喰い虫

2号<通刊7号>

Seiy

明日はもっと大変、だからいま平和に向かって／関屋綾

逗子と藤沢、女はたたかう

「国家」は嫌い／宮崎駿

ずいひつ／井出孫六

トマ喰い虫たち／札幌・室蘭・横浜・ヨコスカ・吹田・呉・下関・石垣

写真報告／カールビンソン入港反対



トマ喰い虫

改装2号(通刊7号)

'85/2/10

写真報告 ● カールビンソン入港抗議 1

トマ喰い虫インタビュー

関屋綾子 2

地域から 4

北海道／東京／神奈川／ヨコスカ／大阪／下関／呉

「政治をひとまかせにしない」
逗子と藤沢・女はたたかう

対談 ● 柳谷あき子 + 鈴木道子 10

私の主張

自衛隊PR広告阻止闘争 ● 北海道新聞労組 14

非核都市宣言のための室蘭市民連合のたたかい 15

民衆の「新次元」を ● 吹田日韓問題を考える会 16

トマホークデータ 8

今日の安保 20

チームスピリット演習のQ&A 21

第4回反トマ全国会議報告 17

もの申す! 新しいものもいつかは 18

古くなっていく ● 角倉生 18

改装1号を読んで ··· 和田浩, 萩原弘子 19

メディアの中から 「風の谷のナウシカ」監督 宮崎駿 22

すいひつ 井出孫六 25

石垣島の海が殺される! 仲村 馨 26

海外から ● ニューカレドニア, 韓国, クワジエン 27

表紙デザイン ● 平野甲賀 イラスト ● 馬場のぼる

トマホークとは

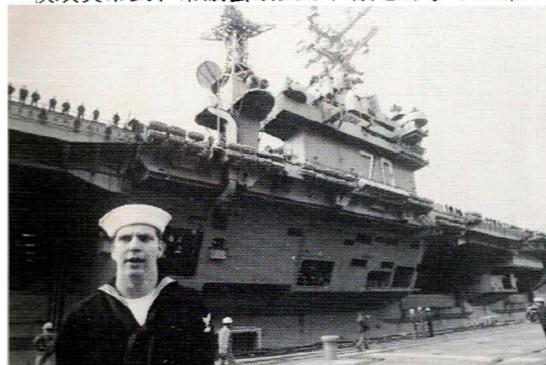
トマホークは、いまアメリカが日本を含むアジア・太平洋地域に配備しようとしている巡航ミサイルです。核弾頭をもつたトマホークは広島型原爆の15倍の威力をもち2500キロメートルも飛びます。目標付近の地図を記憶したコンピューターを搭載し、極めて高い命中精度を有します。超低空で飛行するため、敵側のレーダーを逃れ、限定核戦争の第一撃をねらった兵器とされています。



小さな声、大きな声がひびこる(12.8)



▲入港反対の紙をもって岸壁に立つアメリカ女性
横須賀市長、市議会議長も、歓迎行事を欠席▼



12月10日、陸海での抗議のなか、核空母カールビンソンが横須賀に入港



・ カールビンソン 入港抗議

1984・12・3～14
ヨコスカ



カールビンソンが入港した。抵抗が大きくなりはづの抵抗はどうだったか、と問いたいが、だからこの際、足らないうものは創り出せばいい、とおおらかに言つてしまおう。で、そつた目で12月の10日間を見ると、大切にした小さなエピソードはたくさん。●倍にふくらみづけた毎日デモ。私は終日まで参加者がふれあがった10日のデモ。中高生の飛び入り。最中たちも反対と声を上げた草の根一の人々。

明日は今日より、もつと たいへんかもしれない

トウケイムシ
トウゲン

私は東京YWCAの会長や全国会長をしていたんですけれど、今は現場に舞い戻って、毎日忙しいですね。いろいろと自分の仕事も手詰まりで、思うこともなかなかできなくて困っています。

でもそう思っていても、私は、明日はもっと今より大変かも知れないと、思うことにしてるんですね。自分の仕事にしろ、世の中の状況にしろ。だからやっぱり、たいへんだって言う中で、座り込んでしまわないで、もう一步明日のために今日準備しておこうという気持ちです。

たとえば、流しの上はいっぱい実状で、ああいや明日、ああいや後で、と言わないで、自分と闘いながら一枚でも二枚でも洗う。それで自分が前進していくんで

す。つまんないことでもその集積ですよ。我々が生きていくといふことは。

明日に向って、明日はもっと大変かも知れないので、ここにたくさん仕事を残しておいたら、私は負けますよ。今日できることは今

日やる。自分との闘いの中で極限までやり抜く。

それは明日っていうか、私より「大きなもの」を感じるからです。

そういうことに対しても、できる限り、最大最善に生きるということだと思います。

自分の食べ物によつて 兄弟を裁いてはいけない

平和・反核という立場に熱心であればあるほど譲らないでしょう。平和を追求していただはずなのに、いつの間にか仲間同士の批判といふふうなことがある。これは人間としていたしかたないことだと思います。熱心になればなるほど、自分と同じ姿勢で歩かない人を糾弾したくなっちゃうのね。

私も含めて人間は「こうしよう」という気持ちが強くなると、そのよう歩かない人は許せないんですね。ですから、それは人間の習性だと思います。そこでやっぱりゆとりを持って、というか、こんなふうに「とゲンコツとゲンコツをぶつける仕種」向き合わないで、やっていけば、私達日本人

はもっと伸びるんじやないかと思うんです。それを、考え方とか、人間の深さというようなもので、越えられるのではないかと思います。

聖書の中に「ローマ人への手紙」というのがあります。その中の14章が非常に好きな所なんです。私が生きていく上で、そのことを考えの中心においているんです。

それは「自分の食べ物によつて、兄弟を裁いてはいけない」ということです。私は丈夫だから何でも食べられるという、その何でもというのが、たとえば肉とか何とか、本当に物体的に硬い物という意味と、思想的な意味があります。硬い物を食べる人は、柔らかい物しか食べられない人を裁いてはいけない、と書いてあるんです。

たとえば真理ということがある

関屋綾子

せきや・あやこ 一九一五年
東京に生まれる。現在、日本

YWCA常任委員。第二回
国連軍縮特別総会NGO（非
政府組織）宗教代表団長。

著書・岩波ブックレットNo.5
「女たちは核兵器をやるさない」他。



言葉として知る だけでは脆い

とします。そこへこの道から行こうとする人と、別の道から行こうとする人がいる。そのことの違いを誹謗してはいけないということだと思います。

唯一の被爆国日本という言葉でいい表わすことができると思つた時代がありましたね。日本は核兵器の攻撃的になつた唯一の国だ、ということはできると思ひます。しかし、一般的にきちんと整理されていないような気がするんです。「唯一の」というのは非常に漠とした表現で、言いたい気持ちちは分かりますよ。だから、被爆ということに対する知識を深め、もっと正確でなくてはいけないと思ひます。

今、トマホークのことがでていますが、どの説明も広島の何倍、といつていますね。それゆえに、広島の実態はどうであったかを知らない限り、知る必要があると思ひます。ただ言葉として蔓延していると、非常に脆いものだと思ひます。広島ということを知識だけ

いつ実現するかわからぬ しかし希望と情熱をもつて

でなく、その中に見えない感動とか、人間の実感とかを、自分の心中で感性というものにかえて、事実をとらえ返し、言葉や知識とすることが大切だと思います。

私はその場にいなかつたけれど

も、今を生きる共通の責任という意味で、知らなければいけないと思つてます。そういう人間としてのふれあいを運動の根底にしていかないと、本当に身につかないんじやないかと思います。

そのためにも言葉で言うよりも、何かをしなくてはならないということがあります。何とか本当の平和が実現するように、実現する道に向つて歩く。いつになつたら実現することです。何とか本当に歩くためにも、トンネルの中にいて、自分が動いていなければ、抜けられないと思うんです。

戦前は皆そうだったと思いますが、へんだなあと思っていながら黙つてそのまま進んでしまった。戦争でひどいめにあった、というこ

とではないのではないかと思います。だからこそ、言うべき時にノイを発しなければならないのであります。国全体がトンネル時代という時もありましたが、時代を切り開く

（インタビュー・井上年弘）

地域から

北海道 富良野で集会

グリーンベレー、ニセコで雪中訓練。例年雪どけまでは冬眠をきめこむ私たちはあるが、正月早々の初仕事となつた。1月11日、アメリカ領事館への抗議行動。昨年末「自衛隊広告反対」にとりくんだ仲間を中心に12名が参加。竹村議員も同行したせいか、代表5名が約20分間にわたり面会。うわさでは社会党議員に対してもソフトムードでせまっているようだ。

2月17日には厳寒の富良野へ集会、ビラまきに行く予定。

反核反原発全道住民会議（大島）

東京 プルトニウムが帰つてきた！

フランスから日本へと海上輸送されてきた約二五〇kgのプルトニウムが、十一月十五日早朝、東京港でトレーラーに積みかえられ、茨城県東海村の動力炉・核燃料開発事業団に運ばれた。これに対し、東京湾周辺の反原発・反開発市民グループは、輸送船の入港間際に

ようやく得られた情報で数十名が東京港に駆けつけて、警察官の厚い壁に阻まれながらも抗議の声を上げた。その後さらに約百名が加わる、海上デモと陸上での抗議集会を行なつた。

プルトニウム研究会 西尾漢

東京 アトミック・カフエ リラ、応答せよ

アトミック・カフエという映画の上映運動をきっかけに始まつた、ぼくたちの反核コンサートは、今年3月に再度映画上映を、5月にはミニ・コンサートを企画するつもりだ。そして、8月には1万人規模のイベントを考えている。このイベントを、コンサートだけではなくいろんな人達が楽しみ、考えていくための企画とするため、ぼくたちと共に、アトミック・カフエに参加してくれる、グループ、団体、個人の方を求めているので是非連絡下さい。できれば、東京だけでなく、各地にアトミック・カフエ・ゲリラが発生するのを望みます。アトミック・カフエ・フェス実行委員会

大阪

「一〇〇番目のサル」が絵本になりました

「私たちひとりひとりが、核兵器は必要でないという自覚をひとりひとりの心の中で、深く深くしていきことです。自覚を深めまして、しかし、核兵器は必要でないというあなたの自覚を、ムリに友人に押しつけようとしたり、対



立したりする必要はまったくありません。たとえそれが、正しいものであり、善意から出たことであっても、そうしたムリじいや、それによって生じた対立の延長線上に、今の核兵器があるのです」（100番目のサル原作より）絵本の申し込みは大阪府吹田市千里山西3の45の12千里順風荘マンショングループは、北村弓・

鳥取

足反トマ、今は

六月トマホーク配備を何として加わって、戦争はいやだ市民の集いを開いたのが昨年十一月。以後、集会名が組織名になり、市議会への陳情、マラソン署名、市内パレードの度に通行人からカンパンが寄せられるなど、他のどのようデモでも経験しなかつたような市民の反応を得た。しかし、八月六日に「被爆者と語る集い」を開き、反トマホークの継続的取り組みを確認したものの、今は足踏み状態。二月十一日には何かをやろうと検討中である。

84年春から夏、神奈川を「反核」が駆け抜けた。市民の非政治化過程の進行が言われるなかで、それは生活者の側からの、政治を取り戻す運動であった。国家・国民レ

米子市政研究会

神奈川 平地域を作る

84年春から夏、神奈川を「反核」が駆け抜けた。市民の非政治化過程の進行が言われるなかで、それは生活者の側からの、政治を取り戻す運動であった。国家・国民レ

東京 トマトトーク 売り上げ76万円

ベルの管理的平和から、地域一市民（生活者）レベルの自律的平和へと到る上で、自治体は格好の訓練の場でもある。他律が支配的な現代社会において、平和もまた生活の在り方の問題でもある。地域生活者として、管理の網を自前の網に置き換えていくこと——この方法によって神奈川を非核地域化する運動を継続していきたい。

生活クラブ神奈川反核平和委員会事務局 大石高久

わたしたちも カールビンソンの 入港に反対します

春から集めている市民の反トマホーク署名、11月末には6万4千人を越えました。非核三原則のなじくすしを心配するにとどめらず、カールビンソンは核戦争を運んでくる！

反対！
反トマホークならすべての核に反対！
カールビンソンは核戦争を運んでくる！

日本海での米海軍最大規模の演習対応攻撃訓練を終えて、ヨコスカへ入ってきました。ヨコスカは、アメリカの対ソ戦略を担うべきで、そのことが実現しない以上、

国はすべての疑惑艦の入港を拒否すべきというのが趣旨。本多さんは「反トマホークの根署名」の呼びかけ人のひとり。「草の根署名」は

飛鳥田さんが話されていた、

入港当日右のような意見広告も出

した。訴状希望の方は、本町3の

14、ヨコスカ市民グループまで。

反トマホーク草の根署名運動

大塩町1-25 大塩法律事務所内 TEL 0468(22)0287

84年12月11日付『神奈川新聞』



242 名称「意見広告の会」
242 口座番号 東京2・135
242 名称「意見広告の会」

横須賀
核疑惑艦船をとめ
ろ？訴訟起こる

9日、横須賀港への「核疑惑艦船」入港の差し止めを求める行政訴訟が東京地裁民事部に起された。前号で飛鳥田さんが話されていた、

大塩町1-25 大塩法律事務所内 TEL 0468(22)0287

飛鳥田一雄さん。「非核三原則」を国是とするなら、核搭載の有無を日本側から確かめる方式を講ずべきで、そのことが実現しない以上、

國はすべての疑惑艦の入港を拒否すべきというのが趣旨。本多さんは「反トマホークの根署名」の呼びかけ人のひとり。「草の根署名」は

飛鳥田さんが話されていた、

入港当日右のような意見広告も出

した。訴状希望の方は、本町3の

14、ヨコスカ市民グループまで。

米軍基地のない町で 安保が見えた

フェリーにより輸送された米軍車両で、確認された数だ。なぜ昨年減少したかはさだかではない。私たち

造し、植民地化をつくりあけつてある。その結果はどうなる。武器も原爆とかわり、日本という出店は崩壊し、死屍累々と化し、そのときアメリカは放棄し、本国へ帰る。ようするにすべての植民地の運命だ。でもうかるから、これでいいともいうのか、正義と自由と平和を求める友よ。長谷川武

東京 ピースバスに のらないか

首都圏の基地を訪ね安保を知る
ツアーハ二日間にわたって行なわ

① ルビンソンの入港に抗議し、トマホーク搭載予定艦船の入港拒否②核疑惑艦船・航空機などへの核チェックを強く要請した。これで、これまでに提出された署名の総数は65391名となつた。

トマホークの配備を許すな！

全国運動・事務局

京東のピースバスにられないか

全國運動・事務局

連動した動きを

よりの実感だ。見えた以上は数量に関係なくそれにコダワル。長年の地域運動のよしみで、あちらこちらとのつながりを生かして、本州のすみっここの町で、私たちもがんばっているよ。今日も潮風にふかれてのフェリー監視です。

関釜フェリーの軍事利用に反対する会

崎川

たくさんいただいた
年賀状の中から

賀正。日本はアメリカの植民地なのか、それとも属国か。政・財・官がグルになってお先棒をかつぎ人が人を殺す以外必要のない武器を作り、その武装をふかめ、口にはきれいごとを既成事実として作

川 年賀状の中から

84年12月17日、「トマホークの配備を許すな！全国運動」の代表3人が、首相官邸を訪れ、トマホークの配備に反対する署名453名（第2次集約）を提出するとともに、中曾根首相に対し、杉田官房長官秘書官を通じて、力

東京
第22次署名提出
65391名
84年12月17日、「トマホーク」

呉市民の会
体を問う視点と実践が要請されている。「全国運動」の一つの柱に反基地闘争があがっているが、私たちもチームスピリットを契機に岩国・広島・呉での、私たちの側の連動した動きをつくっていきたかった。トマホークの配備を許すな！



横須賀 カール・ビンソン号 入港反対毎日テモ

4日(火) 時間前に集まつたのは10人足らず。KAさんが、これから十日間みんなで作っていくデモにしようと思つた。第一声。それぞれの想いがたくさん表現できればいいなと思つながら聞く。解散地では21人。倍になつた毎日デモのスタート。

5日(水) 13人だつたけれど「来るなカールビンソン」のシュプレヒコールに冬の寒さもふきとんだと〇さん。

ソンの入港に反対するためここにいるのです。機動隊は何のためにいるのですか? 次から次へとマスクを握る人、街ゆく人の心に届けと訴え。参加者全体で400人。**9日(日)** 「護憲反安保」主催の一万人集会に合流。毎日デモの横断幕は子供達。のびのびと歩く200人。それにしても革新政党的りくみの後退は何なんだろう。長崎放送の記者が、こんなにスンナリと首都圏に入港するなんて信じられないと電話の向うで重たく

11日(火) 雨。勤労会館にはすでに15人ぐらいの人。あわててプラカードの追加を取りに走るYさんとSUさん。川崎のバス運転手さん4人で参加。組合の動員はないのですが参加しますとあいさつ。しつかりぬれて解散地。参加者は30人に。今日集まればホンモノだなといっていた横須賀署も、30人になるとは思わなかつただろう。

12日(水) カールビンソン出港。市民団体が監視のみとNHK。監視はHさんとSさん。入れかわり



活のコトバに近いデモで親しみを感じた。若い女性は「2回目です

6日(木) 冷たい雨。Aさんは友人
がマフラーを貸してくれたと暖か
そう。TAさんは長靴にゴアテック
スと用意がいい。おくれて届いた
ビラをまくのに誰も傘をささず。
そんな熱い想いが伝わるのかビラ
の受取りはいい。デモは16人。

つぶやいた。
10日(月) 反対の声を押しつぶし
一時間も早く港口に巨体をあらわ
したカールビンソン。抗議船に乗
った仲間達と合流して昼間のデモ。
150人でスタートしたデモは3
00人にふくれた。中学生や高校

にミッドウェイの入港。抗議デモは毎日デモのみ。今日もはじめて参加しましたという人がいる。今日は同僚をさそってきました。明日は生徒をさそってきますと県工のS先生。年に一度夫婦でメサイヤを聞きに行く日でしたが、本當

7日(金) KUさんが丸いプラカードを持って初参加。大きな声で米兵に呼びかける。寒さは昨日以上。銀行の電光温度計は7度C。ふるえながらの参加19人。

8日(土) 首都圏運動呼びかけの緊急行動に合流。機動隊の乱暴な

生、なんとカール・ビンソンの乗組員の飛び入りも。マイクを握った中学生小さな声で「戦争ハンタイ」「やっとデモに出ました。ここに来ることのできない多くの人の気持ちも皆さんといっしょです」と私たちをはげます主婦。夕方から

13日(木) 最終日。今日もまた参加者がふえている。出発時にすでに30人。新聞で知り、初めて参加と、はるばる国立からかけつけたSAさん。「この街から飛ばすな」をうたつて解散。33人。

浮かびあがった核トマホーク搭載の

潜水艦名

ボストン、バルチモア、アトランタ、ヒューストン

最新刊『ジョン海軍年鑑84-85』の潜水艦(SSNおよびSS)（注：SSNは攻撃型原子力潜水艦の略）の項目に次のような一文がある。

「ミサイル：トマホーク・ミサイルがSSN 703（ボストン）、704（バルチモア）、712（アトランタ）、

713（ヒューストン）に装備されている。SSN 688-720は、魚雷の一部として12基のトマホークを搭載するだろう。SSN 721以降には、内側船殻と外側船殻の間に船首部分に、垂直型発射台15箇が装備され、各艦とも15基のミサイル能力を有する予定である」

ここに名前のあげられた4隻の原潜のうち、SSN 713（ヒューストン）のみ太平洋艦隊所属であり、他は大西洋艦隊所属となっている。

よく知られているように、米国防総省は、1984年6月27日、核巡航

ミサイル・トマホークを複数艦船に配備したと公式に発表した。しかし、配備艦船名は明らかにせず、のちに、4隻の攻撃型原潜にまず配備されたことのみ明らかにした。

ジョン年鑑の4隻が、この4隻にあたるものと推定される。

本誌前号のこの欄に紹介した米議会でのホステットラー証言（'84.3.14）に明らかなように、艦船搭載のトマホークには、対艦攻撃用（TASM、非核）、対地攻撃用通常型（TLAM/C）、対地攻撃用核型（TLAM/N）の三種類がある。

以上のように、ボストン、バルチモア、アトランタ、ヒューストンの4隻が、最初に核トマホークを載せた4隻であることが、相当な確度で推定しうる。もちろん、その後も配備艦は増えており、これらがすべてではない。その点については次項参照。

のあとに、現時点における解説を加える。

* * *

対地攻撃用トマホーク

質問 対地攻撃用核トマホーク（TLAM/N）の現行の配備計画は、数量および発射装置の型式に関してどのようになっているか。

回答 現在の計画は、758基の対地攻撃用核トマホーク（TLAM/N）を得ることにある。配備計画は次表の通り。海軍の計画では、次のようなTLAM/N装備可能な発射装置を持つことになっている。

が出た質問に対して後日出されたものである。ディスク議員の質問には、W・アーキン氏からの強い働きかけがあった。

この回答書の内容は、日本の新聞にも報道されたが、その解釈をめぐって少なからぬ混乱があった。訳文

の潜水艦に配備されました」など、繰り返しのべられているように4隻のトマホークはTASMではない。

また、TLAM/Cは、その有効性が疑問視されており、有効であるために必要な精度を開発中である。ホステットラー証言でも、「TLAM/Cは、まだ開発中であります」、「TLAM/Cの生産予算は、垂直急降下攻撃の概念が立証されるまでは使用されないでしょう」などと、これも繰り返し述べられている。戦艦ニュージャージーに搭載されたTLAM/Cは初期艦隊能力の立証のためである。（むしろ、現在はTLAM/Nがのっているだろう）。従って『ジョン年鑑84-85』に書かれている4隻のトマホークは通常型ではない。

以上のように、ボストン、バルチモア、アトランタ、ヒューストンの4隻が、最初に核トマホークを載せた4隻であることが、相当な確度で推定しうる。もちろん、その後も配備艦は増えており、これらがすべてではない。その点については次項参照。

	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	年
戦艦（ABL 8台）	1	2	2	3	3	3	4	4	4	4	4
駆逐艦（ABL 2台）	1	2	4	7	7	7	7	7	7	7	7
駆逐艦（VLS）	2	4	12	15	20	21	
誘導ミサイル巡洋艦 38型	2	2	4	4	4	4	4	4	
誘導ミサイル巡洋艦（VLS）	1	3	7	10	11	14	17	
誘導ミサイル巡洋艦 36型、39型	1	1	3	3	3	3	3	3	
誘導ミサイル駆逐艦 51型	1	1	4	9	
スタージョン級攻撃型原潜	1	7	11	19	25	33	34	39	
ロサンゼルス級攻撃型原潜	6	12	16	21	25	26	28	31	31	31	
ロサンゼルス級攻撃型原潜（VLS）	1	4	6	10	13	13	13	13	
計	8	16	27	46	64	83	107	122	134	148	隻

ABL：装甲箱型発射台 VLS：垂直発射装置

* * *

上表の数字は累積隻数である。

現時点で、この回答を読んでみると、上表の計画は、あくまでも、当初立てられた10ヶ年計画表でありこの通り実行されたものではないと思われる。1984年になって米議会で繰り返し「6月配備」と説明され（2月1日の85会計年度軍事情勢報告、3月14日の米下院軍備委員会調達・核兵器小委員会におけるホステットラー証言などすべてがそうである）、その上6月27日に配備が公式発表されたことなど、すべてがウソであるとは考えにくい。計画は明らかに表よりも遅滞したのである。

しかし、3月のホステットラー証言の他の部分で「1984会計年度末までには、12隻のトマホーク能力をもった攻撃型原潜が海に出ていくことになるでしょう」と述べていることに注意する必要がある。これは、84年9月末までには、遅れをとり戻して、上表に記された計画に追いつく可能性を示したものである。PCR（太平洋問題資料センター）のN・フォスターも同じ推測に達している。

その場合、84年9月末日までの核トマホークの搭載艦名を諸情報を総合して推定すると次のようになる。

戦艦（2隻） ほぼ確実にニュージャージーとアイオワ
駆逐艦（2隻） 不確実ながら1隻はメリル。他は不明。

攻撃型原潜（12隻） 高い確度で前記4隻。他の8隻は不確実ながらホヤ、サンフランシスコ（以上、太平洋艦隊）、フェニックス、ノーフォーク、バッファロー、ソルトレークシティ（以上、大西洋艦隊）、オリンピア、ホノルル（以上、未配属）。

滞在日数は延べ116日になる。昨年の93日に比較して23日の増加となり、ほぼ3日に1日は横須賀にトマホークが存在する勘定になる。

新しい文献

•核兵器ノート一線の地球、その未来のために（前田哲男他編、神奈川県渉外部発行、1984年10月20日、小冊子）

•日本の軍事化十大事件（山川暁夫「本格的な国軍化に向かう自衛隊」、梅林宏道「非核三原則とトマホーク事件」など、「思想の科学」、1984年12月号）

•核臨戦体制を支える電波網-C³Iと日米安保（グループ波編、「労働情報」No.179、1984年12月15日、図解）

•核に滅ぶか？（高木仁三郎、前田哲男著、径書房、1984年12月10日、980円、対談）

•月刊非核自治体通信・創刊準備号（法大・西田勝研究室編集発行、1984.12.24. 100円）

米下院歳出委・軍事小委員会に回答した
国防総省のトマホーク配備計画（'84.7.8公表）と、
その読み方

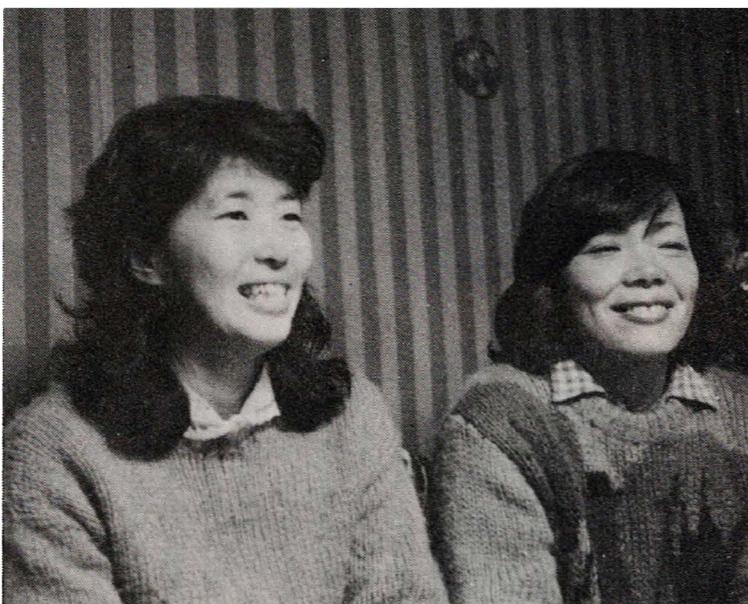
1984年7月8日にワシントンで公表された米下院歳出委員会・軍事小委員会にあたる国防総省の回答書のトマホーク配備計画の部分を以下に訳す。この回答書は、3月に行なわれた1985年度国防予算についての公聴会の際にディスク議員（民主党）

が出した質問に対して後日出されたものである。ディスク議員の質問には、W・アーキン氏からの強い働きかけがあった。

この回答書の内容は、日本の新聞にも報道されたが、その解釈をめぐって少なからぬ混乱があった。訳文

政治をひとまかせにしない 逗子と藤沢、女はたたかう

ギーがあつて、それについて来れない人はダメだとか、ここまでわからなくちゃダメなんだとか言つてると、どんどん反対側の力が強くなってしまうと思うのね。今、女の運動とか草の根運動がもてはやされている感があるけれど、ただその中で私がこわいナーナンだけれど、それが「自分だけがよければいい」というエゴになつぶつかり合つてしまつたらど



柳谷あき子（やなぎわあきこ）
1945年生まれ。藤沢市議会議員。

鈴木道子（すずきみちこ）
1945年生まれ。生活クラブ生協逗子支部。
池子米軍住宅建設に反対して自然と緑を守る会会員。

うなるか。へたすると戦いがおきるわけよね。食べものにしたつて自分だけ安全なものを食べられればいいという人がすごく多い。平和にしても、自分たちだけが平和であればいいというものではない。ういうことも言つていかないとね。逗子の運動でも気をつけなければならぬのはそこだと思うのよ。と思うのは、市民の自治とか個の尊重というのはそれ自体いいことなんだけれど、それが「自分だけがよければいい」というエゴになつぶつかり合つてしまつたらど

「私は自然保護がいい」「水や緑が大切だ」それはよくわかるけど、じゃなぜ米軍住宅が建てられようとしているのか、なぜ基地があるの

か、それがために日本が他の国に対し何をやつてるのかと、そこまで考えていかないとへんな平和、へんな民主主義になつてしまふこわさがあると思う。つまり「米軍住宅イヤです」ということが「どこか別の所へ建てて下さい、横須賀へもつって下さい、三宅島へでも……」となつてしまつたらまずいわけよね。そこをくすすには、やつぱり「安保があるからだ」「安保なんか知らない、必要ない」と小さな市民運動、住民運動でもどんどん言つていかなければいけないと思うのね。



藤沢 逗子 鈴木道子

葉で語つていったから広がつていったんだと思う。

建設したいという申し入れが82年8月に防衛施設庁からあって以来、その是否をめぐつて、市長の「寝返り」、リコール署名、市長辞職、そして選挙と、自然保護から出発した池子の運動は、反基地・反戦の闘いとして大きな注目を浴びました。市長選では「自然と子供を守る会」推せんの富野暉一郎さんが当選し、「米軍住宅反対！」の市民の声が勝利した。しかもその運動の母体になつたのが主婦を中心とした女たちだったということも話題になりました。

鈴木 最初はみんな、ただ単純に緑を守りたいという気持で動き出したのが、「緑だけじゃダメなんだ、住民自治なんだ」と進んでいつて結果的に政治を動かしてしまつた。つまり池子の運動というのは、今まで政治の問題を市長なり中曾根さんなり他人にあずけて任

せておけばいいと思っていたのを、それじゃダメなんだ、自分たちが始めたことの現われだったと思う。逗子という街は東京や横浜のベッドタウンで、市民の殆どが外から引っ越して来た人なのね。生活水準もある程度高く、多少税金は高くてもきれいな空気とマイホームがありさえすればいいといふ。政治的にも無関心の人が多かった。そこに街全体に関わる問題が起きて、それをめぐつて市長の中味が暴かれていくって、自分たちの市長はこんなものじゃいけないと市民が気づいたわけね。

女が中心になつたというのは、女の方が男の人より日常生活の中にいて、管理社会の中で縛られてる彼らより、今の世の中をおかしいと感じて、またそれを語りやすかつたからだと思うのね。女たちが日常生活の中から日常的な言

葉で語つていったから広がつていったんだと思う。

今回の場合、「守る会」はあくまで米軍住宅建設反対という一点のみの活動の場とし、自然を守るためとか、子供への影響の心配とか、基地強化への不安とか、それの動機のどこからでも関われるように運動がつくられていつたのね。それぞれが自分の言葉で語り合い、いきなり激論に入らずに、意見が違うからといって排除しない。上から言われたからとかではなくて、個人個人が自分の意志で、自分にできることは何かと問いかながら、できるところで関わっていく、というのが逗子の運動の特徴だったと思う。

柳谷 これからは逗子のような運動をやらないと広がつていかないということはあるわね。たとえば今までの政党主導型の運動みたいに、最初にある思想とかイデオロ

マホーク配備阻止ということにしても、安保があつてアメリカが日本に配備するものなのだから、当然「反安保」に行きつくわけだけ

ど、運動の場でストレートに語られにくい面がある。これから運動を考えいく場合、この「反安保」ということに、どう取り組んでいいたらよいのか……。

鈴木 逗子の場合でも、安保だけでついていける人と、自然だけじゃないとついていけない人と、いろいろいるんです。もちろん自然保護の立場からのみの運動の進めた。ただ今は人口五万八千の中で全市民的な動きにしなければいけないということから、あえて安保のところでなく、みんなが関わる「自然と緑を守る」という共通の一致点で進めたのね。

柳谷 私は今回の逗子の闘いを見て「あっ自然だけでもやれるんだな」という気はしたけれど、そもそも「自然を守って米軍住宅を建てさせない」ということがすでにイコール反安保の行動なのに、それを言えないというのは大変だなと思つた。藤沢の場合、市政レベルでも、いろんな運動の場で

のか、つまり自分ひとりでは生きられないんだという考えをみんなが大切にできるようになれば、あえて「反トマホーク」「反安保」と言わなくとも自然に自分の問題として考えていけるようになるはずだと思うんだけどね。

逗子に関して言えば、今まで

人ひとり分断されて生活してて、自分さえよければという人が多かった中、今回の運動を通じて隣同士で話をすることもなかつた所に対話がおきたりして、住民同士が隣近所で有機的につながるようになってきたのね。これを強めていかなければいけないと思うわね。

柳谷 私たち今までPTAとか社会教育とかいろんなことはやるけれど、政治はイヤという女たちばかりだつたわよね。でもそう言つてゐるうちに、気がついたらいつの間にか全然関係ない上の方で政治が動いていて、遠くへ行つちゃつたという状況でしょ。それをひきずりおろしていくには、女とか今まで政治のプロでなかつた人たちが政治に関わっていくような運動をつくりあげていくこと。つまり「政治は身近なんだ、消費者問題やPTAと同じだよ」ともつと



も、女たちがもつとストレートに「戦争への道を許さない」と言い、反戦・反核・反安保を語っているね。トマホークにしても原潜にしても安保があるから来るわけでしょう。戦争への道を進む今の状況の裏に安保があつて、政府自民党が何故それにこだわるのか、何故軍事費ばかりが突出するのか、そういうことを女たちがもつと運動の中で考え、語つていかないといけないとと思うのね。

鈴木 ただそこで「安保があるから全てダメなんだ」と簡単に言いつつ切っておしまい、というんじゃないで、安保が是か否かという一步手前でちょっと考えてみる必要があると思うの。私もよく人に「安保がなくて日本が守られるの」と、安保に反対しておられるのをやつてきただけで、自分もその中で考え、語つていかないといけないとと思うのね。

（略）

保がなくて日本が守られるの」とか「日本が守られているのは安保があるからじゃない」と言われたりするんだけど、そういう時に「そうじゃないと思うわ」と、安保によって一体何が守られているといふの、トマホークにしても原潜にいるの裏に安保があつて、政府自民党が何故それにこだわるのか、何故軍事費ばかりが突出するのか、そういうことを女たちがもつと運動の中で考え、語つていかないといけないとと思うのね。

（略）

柳谷 逗子にして藤沢にしても、この日本の中どこも、自分たちの生きている状態がおかしいとか、軍事化が進んで戦争への道を歩んでいると考えている人がまだまだ少ないのでね。いつまでもみせかけの平和が続いて、トマホークが来ようが、カーレビンソンが来ようが、池子に米軍住宅が建てられようが関係ないと思つてゐる人が多い。消費者運動なんかをやっても、反戦・平和とか、政治的なものに全く関係ないという人がすごく多いでしょ。その人たちをどう「関係ある」と思われるか、と

鈴木 今世の中、すごく便利になつて居ながらにして買い物がでたり、自分ひとりでも生きられるような錯覚に陥るでしょ。自分たちの暮らしはどういうものな

安保によつて何が守られていると いうのか、安保があるとはどうい う状態のことなのかなと、その人と

いうことを、もつと知つていく必 要があると思うのね。



て思つてもみなかつたことが次々起つてきたのね。初めはリコールが成立するとも思つてもいなかつたし、まさか市長選で勝てるとも思つてなかつた。ひとつ越えれば越えたで、どんどん次のハンドルが高くなるというのが正直な気持ね。

でも数年前までは自分の街のこ

とにも目を向けず「日本の政治は変わりっこない、ダメなんだ」と思つてた人たちが、こうやって自分の足元をみて自分の街のことを考えるようになつてきた。今回の問題が始まる前の状態からすれば市民全体会がずっと成長したと思う。もう絶対もとには戻らないという自信をみんな持つてゐると思うね。たとえば夫婦間で考えがちがつてダンナとぶつかる。でもそれで「ハイ、さようなら」とはなれないからお互いに話をするでしょ。

（略）

これが日本中に広がれば、と本

PTAとかいろんなことはやるけど、政治はいやという女たちばかりだつたわよね。でもそう言つてゐるうちにいつの間にか……。

（略）

（略）

私の主張

●自衛隊PR広告の追放を！
今年もまた会社は掲載を強行
北海道新聞労組

年に一度、全国の新聞に同時掲載される「自衛隊P R広告」をご存知ですか。といっても、この広告を意識してご覧になつた記憶のある方は、多分ごく少数ではないかと思います。私たちも新聞の送り手でなく、受け手の読者であつたなら、恐らく見逃してしまつていることでしょう。

今日、情報媒体としての比重が多少軽くなつたかにみえる新聞。一年365日発行される新聞のうちたつた一日に載る一片の広告が、私たちの問題にしている自衛隊P-R広告です。「そんなさ細な広告に目くじら立てることはないでしょ」と思われる人もいるかもしません。しかし新聞労働者として、目をつぶって簡単に素通りさせることは出来ないのでです。

この広告が載るのは、毎年11月1日付の朝刊です。だれが決めたのか知りませんが、この日は自衛隊創立記念日なのだそうです。政

演習が、例年以上に華々しく繰り広げられました。こういう状況下にあって、自衛隊容認、軍備拡大を促すPR広告の持つ意味は、極めて重大であると言わざるを得ません。

● 室蘭市議会 非核都市宣言を否決
市民の1/3の署名に問答無用のヤミ討ち
● 非核都市宣言のための室蘭市民連合

人間の臓器移植のためには、日本の臓器を金で売る人が現われた。そしてその売買を斡旋する組織もあるという。金のためになると、人間は恐ろしいことを考えるものだ。"マチ"も衰退し、貧しくなると身を切り売りするような恐ろし

るから中央競馬会の場外馬券場を誘致したいという。さらに港を軍港化し、自衛隊を誘致するよう、市議会でマジメに論議されている

え、市民税がいくら、寄附金、補助金がいくらと指折り数えて、この室蘭は、先の大戦時、日鋼日鉄（新日鉄の前身）の軍需工場を抱える軍港だった。それゆえ、一九四五年七月米軍艦砲射撃にさ

道内最大の惨事に遭つた。この尊い歴史の教訓はどこへ行つたのか。鉄工場経営の市議がふと漏らした。「爆弾の三つか四つ落ちれば、數千万円の仕事ができる」と。自分の頭の上に落ちる計算は全くしていない。こんな市議を幹事長に据える保守系市議団の反対で「室蘭の非核都市宣言を求める請願」は12対28で否決された。15万市民の三分の一以上の五万を超える署名を集めたのに、問答無用のヤミ討ちである。但し、委員会で意見は出された。曰く「核廃絶の方法は他にもある」「今しばらく時期をみたい」そして「この種の宣言は地方になじまない」と寝ぼけてござる。

あつた。署名活動をしたことのなかつた僕が、生まれて初めての署名を頼みに、震えるひざを押えながら、社宅街に入った。多くは趣旨に賛同して署名をしてくれた。なかには「不況だから核兵器の仕事でもあつた方がいい」という猛者もいた。マチ場と違つて社宅街には「主人に聞いてみなくては署名できない」という主婦がけつこういた。「僕はあなたに頼んでいいのです。ご自身が賛同すれば署名していいはず」と言つても「主人の立場上」と言つて署名をしない。自分の判断で意思表示ができない人がいることに驚いたものだ。社員に上意下達を徹底させ、忠誠を誓わせたい大企業は、自賞

市民運動をつぶしにかかった大企業は、圧倒的な市民が願う反核平和の請願を、企業選出の市議団を使って否決した。さらに僕らの組織を誹謗、中傷する悪辣なチラシを市中に撒いた。そして僕らの集会に偵察を送り込むなど卑劣な行為をくり返した。

言を否決
用のヤミ討ち
室蘭市民連合

自衛隊や軍港を考える人達は説弁を弄しても、平和運動の押しつぶしを図つたのである。もうひとつ、この市民運動をつぶしにかかった勢力がある。この地に巣く

府・防衛庁はこの日に、自衛隊を宣伝し、認知を浸透させるためのPR広告を全国の主要日刊紙に一斉に載せています。

掲載が始まったのは1974年。当初は朝日、毎日、読売、日経、サンケイの5紙だけでした。ところがPR攻勢は一挙に地方紙へも広がり、北海道新聞には2年後の76年から掲載されるようになります。主要紙の中で未だに不掲載を貫いているのは、沖縄の琉球新報と沖縄タイムスの2紙だけです。

どのような広告かをご存知ない方のために多少説明します。大きさは年によって違いますが、全7段（24×38cm）か全5段（17×38cm）。図柄は、ある年はファントム戦闘機の大写し、またある年は迷彩服に身を包んだ陸上自衛隊員のポーズ写真と変わります。84年



私たちには過去9年間、この広告を紙上から追放する運動を続けてきました。その理由は①憲法違反の疑いの濃い自衛隊を政府が私たちの税金を使って国民に宣伝するることは許せない②戦争に導く、などを二度と執らない、と誓った新聞人として黙視できない——からです。防衛庁から掲載の申し入れが会社に入る10月、私たちは集中的に社内、外でのビラ配布、労組や市民団体、文化人への支援要請、沖縄の2紙との交流、講演会などを実施します。今年はポスターを500部印刷し、道内、外へ送つて支援と共闘を呼びかけました。ですが力及ばぬまま、今年もまた会社は掲載を強行し、私たちは不本意な新聞を読者へ送り届けてしましました。これで9度目の敗北です。会社は「自衛隊広告も読者に提供すべき情報の一つ。問題の是非は読者に判断してもらおう」と主張し、新聞社としての主体的判断を放棄する姿勢をとっています。

反省は尽きません。ですが同時に明るい期待の持てる動きをハダに感じているのも事実です。それは読者や市民団体、労組のみなさんからの支援で、この運動が少しづつ外へ広がり始めたことです。新聞労連内部でも少々孤立ぎみのスタートだったこの運動も、最近では労連ぐるみで取り組む形態が育ちつつあります。

また幸いにも、私たちのこれまでの試行錯誤の歳月を一冊の本にまとめるというチャンスに恵まれたのはど「戦争と新聞」（径書房・1500円）を刊行することが出来ました。この運動に直接携つてきた当事者らが編集委員となりドキュメント風に仕上げたものです。読者からの反響に勇気づけられたことも少なくありません。

米ソを核とする東西陣営のにらみ合いが続く限り、北海道に生きる住民の暮らしはたえず脅かされ続けます。昨年10月、北海道では「北の脅威」を想定した日米合同

は早期警戒機 E-2C の飛行写真でした。この図柄に 84 年は「守るために力がなくては現実の平和は語れません」といったキャプションが付

過去9度も敗北を重ねているわ
す。一掲載しなければ（政府に）
色つきにみられる」とも言つてい
ます。



ればなるまい。企業人、組織人と
か言われ大勢に流される市民でな
く、自覚ある個に訴えかける運動
を築きたい。そしてマチの貧しさ
を救う手段を死の商人に委ねるこ

とを捨てさせよう。平和をつくり出す作業を続けていかなければ戦争の影はしのびよってくるのだから。
(増岡敏三)

る大規模水道設計労組の労働争議が解決した。この労働争議は職場占拠の闘いは、争議勝利を目指すと共に地域の様々な仲間との争議を媒介とした交流・結び付きの場で

● 次田曰韓問題を考える僕 民衆連帶の「新次元」を!

私の主張

第4回反トマ全国会議報告

○遠藤洋一(福生市民連合)



吹田市は大阪府の北部地域にあり、在住労働者の六五%が市外に職場を持つ典型的なベッドタウンである。

吹田日韓問題を考える会は、八年前、11・22事件政治犯李哲氏を救う大阪の会の呼びかけで地域の青年労働者・市民などで結成されこの間、在日政治犯の救援運動、日韓連帯運動を進め、又、地域センター「えぼっく」の運営の中軸を担って来た。

本年は、戦後四〇年、日韓条約二〇年あたり、中曾根一全斗煥による「日韓新次元」は更に強化されて行くだろう。今、我々自身による民衆連帯の「新次元」を創り出すことが問われており、特に日韓労働者連帯の運動の前進が、急務としてある。昨春からの盛り

上がる韓国学生・労働者の鬪いは韓国労働運動の新段階を示している。それに対し日本労働運動は真的国際連帯の道に逆行し、むしろ権力者の描く「日韓新次元」の中に組み込まれて行こうとしている。いわゆる全通問題はそのことをハッキリと示している。

我々は、全斗煥来日阻止―天皇会見粉碎闘争の中で生み出されて来た連帯の質をふまえ、「成果」を共有し連帯運動を質・量ともに拡大し、韓国民衆の眼に見えるような運動の実体を作り出す必要がある。その為にも、様々な闘いのネットワークを作り具体的な共同行動を開拓して行かねばならない。

終局面では、地域の色々な個人・団体の共同事務所の様をなしていった。二階は劇団の練習場、少林寺拳法の道場だった。そこへ行けば色々な人々と出会い、酒を飲みながら色々な話が出来たし、そんな居間的空間から何か地域が見えてくる様な可能性を秘めた闘いのようでもあった（一時期は、男の駆け込み寺と言われ、婦人層からひんしゅくをかつた。それはオレだけか？）。そうであるが故に、職場を獲得する闘いと共に地域を獲得する闘いとして大規模水道の労働争議は解決（勝利）した。争議解決の全成果（新たな闘いへの新たな土壌と解決金）を地域での共同センター設立へと繋げていった。

センターは「えぼっく」（英語・仏語で新しい時代の意味）と名

域に定着した感がある。今年は色々な意味で左右双方から戦後の総決算がなされようとする重要な年であり、又、再来年の統一地方選も考え地域センターとしての「えぱっく」運動を強化して行きたいと考えている。具体的には、初夏の労災を中心とした健康フェスティバル、夏の反核・反戦集会、そして、月一回の連続講座・取り扱い雑誌の読書会・事務機・資料の貸出し等を企画している。地域の人が気軽に寄れるサロンとしても充実させて行きたい。

(加藤達哉)

16

まあ全国会議の報告をつまらないテレビニュースの決まり文句風にはじめると「11月23日好天に恵まれた、さわやかな晩秋の東京・本郷に、全国津々浦々から『トマ喰い虫たち』が集まつております」——とこうなる。

しかし、現実には第四回の全国会議は、世界最大の米海軍演習「フリーテックス85」への海上自衛隊の参加の疑いが濃厚となり、原子力空母カーレビンソンの史上初の首都圏（横須賀）への入港という緊張した事態のなかで開かれた。参加者は北海道から九州まで、

いえるものだった
更には、"みちのく85"はじめ
日米の共同軍事演習が、めざまし
い勢いで拡大・強化されていて、
それはトマホーク配備の情勢と一
つのものであるという認識が参加
者みんなのものであつたと言える。
そのうえで、トマホーク配備反
対運動をどう創るのか、どう考え
るのか、原点に戻っての議論がな
され、八五年へむけての具体的な
行動計画が練られた。全部で12項
目、それぞれの計画についての議
論だけでも膨大な時間が費やされ
ることが予想された。議論は少な

4 4月に横須賀で全国・国際会宿を行なうという提案は、継続討論する。

5. 日本海平和の船の企画については全国運動として協力する。

6. 6月反核・反安保の大集会を東京で行なう。アジア・太平洋NO TOMAHAWK HERE!!の国際デーとしての位置づけもあわせてもらたせる。6月にむけたキヤラバンのような行動企画を検討する。

7. 全国運動と非核フィリピン連合との継続的な協力関係を確立する。

A black and white cartoon illustration of a cat's head and upper body. The cat has large, expressive eyes and a small tuft of hair on its head. It is looking slightly to the right. A simple speech bubble is attached to the right side of its neck.

もの申す!

新しいものもいつかは
古くなつていく

●第4回反トマ全国会議での発言より

角倉生

(学生)

なんかに言わせると、そこに安住しているというか……。
たとえば安保を言わない人々に、
オレたちは反安保の視点があるんだ
ぞと言っているだけで、逆にと
ても観念的になつて面がない
か。あるいは反安保でなく反トマ
ホークをやることについて、どん
どん右へずれていくって感じてしま
って、どこか転向意識のような
ものにとらわれてはいいか。反
トマホークの運動を反安保闘争に
せり上げる、という言い方はそ
した意識のあらわれではないかと
ぱくなんかは思つてしまふんです。
トマホークを「せり上げる」という戦術問
題としてとらえている限りは、今
日の危機は十分にとらえられない。
これじや90年安保闘争どころか80
年代の闘争もやつてこないという
のがぼくの考え方です。

たしかに「加害者の論理」は大
切です。日本のアジア民衆への敵

核を「せり上げる」という戦術問
題としてとらえている限りは、今
日の危機は十分にとらえられない。
これじや90年安保闘争どころか80
年代の闘争もやつてこないという
のがぼくの考え方です。

横須賀へカールビンソンが入港
した日に、中学一年生の娘とテレ
ビのニュースを見ていた。

大人たちが
はづかしくなる
紙面を！

和田浩
●石川県

横須賀へカールビンソンが入港
した日に、中学一年生の娘とテレ
ビのニュースを見ていた。
記者が横須賀の街角の小さな店
でいそいそと働いている年輩の男
の人に、「カールビンソン知つ
ますか?」と尋ねたところ、「い
や、知らんないアー」という呑気な
応えしか返つてこなかつた。この
場面を見ていた娘は、突然「あの
人なんや！自分の住んでる街
に核兵器を積んだアメリカの空母

改装一号拝見しました。見逃せ
ない情報あり、忘れられない文章
あり（とりわけ栗原貞子さんの一
文）で、硬軟の混じりぐあいもよ
ろしく、まあ「よいお湯加減」と
読みました。

無力の過信的は
とても頹廃的
なこと

萩原弘子
●大阪府

各団体の決意を見ていますと、『ト
マ喰い虫』一冊の問題に留まらない
大きな問題、日本の市民運動の
質問にわる問題に直面している思
いがします。どうも我々には美し
き決意に自足するといった面がな
いでしょうか。結果を問うのは品
のないことで、言えば絶望するば
かりですし、出来ることはおのが

身ひとつ決意を日々自ら問いか
めて、決意を決意していくこと、
といった傾向があると思います。
これにはいろいろな経緯がある
ことは承知しています。獲得すべ
き運動目標のためには、参加する
各人に鋤型にはまつた行動を強要
するというタイプの運動への反省
が、人々の美しき決意には含まれ
ています。確かに運動に奉仕する
行動の強要などまづびらです。そ
のことを確認したうえでお改め
て、我々の決意精進主義的体質を
考えなおしたいと思うのです。「海
外から」の欄を読むとわかるこ
とは、我々の反トマホークの運動は

対はさらに強まっているのですか
ら。同じように、反安保の視点だ
ってなくてはならないものです。
しかし、反トマホークを言うとそ
れが落っこっちゃうてのは70年
を闘つた人の古い論理だと思ふん
です。

多くの人が、今、日米安保は日
本を守っていると思っているんで
す。問題はそこをどうつきくずす
かでしよう。トマホークの配備は、
安保が日本を守るなんてことがウ
ソッパチだと、徹底してバクロッ
ているんです。アジアとヨーロッ
パを核戦場にして、アメリカだけ
が生き残るという思想が根底にあ
るんだから、日本を守るはずがな
い。これまでの核状況と一変して
きてるんです。

そういう兵器の配備をとめるた
めには、アジア全域を非核化する
以外はない。そうなればアジアと
私たちの関係を考えざるをえない
じた。

が来たのにどうなつているんや!!
あの人は若い時に悲惨な戦争を経
験したのに、よくも知らんなアー
とゆうとられるもんや!!」と憤つ
た。
私は娘の憤慨に同感はしたもの
の、「いや、知らんないアー」と言
う人を構成している大人の一員で
あることに恥ずかしさと責任を感
じた。

『トマ喰い虫』改装一号は、国
内国外の反核状況や、各層の人々

の意見や歌まで出でていて楽しく
(ときには辛らつに)読ませてい
ただきました。

しかし、欲をいうなら、もつと
もつと「トマ喰い虫」という言葉
を創り出してくる中学生や高校生
の感性ゆたかなさまざまのアピー
ルを載せて、黙つて大人や、
現実の核状況に無関心でいる大人
たちが恥ずかしくなるような紙面
もあつていいのではないかと思
います。

図解を豊富に取り入れ、説
明文を必要最小限におさえた
反トマホークのパンフを作り
ました。題して「ビジュアル
核軍拡」200円。ご購読を。
申し込み・東京都渋谷区代々
木1の20の4「日本はこれで
いいのか市民連合」、または
核軍拡」200円。ご購読を。
03・469・8790 角倉生まで。

あんまり偉そうなこと
言えないけど…

ぼくは会社に貢献するって意識、全然持つてない人間なんですよ。今でも、自分で会社持つても、「会社のために一

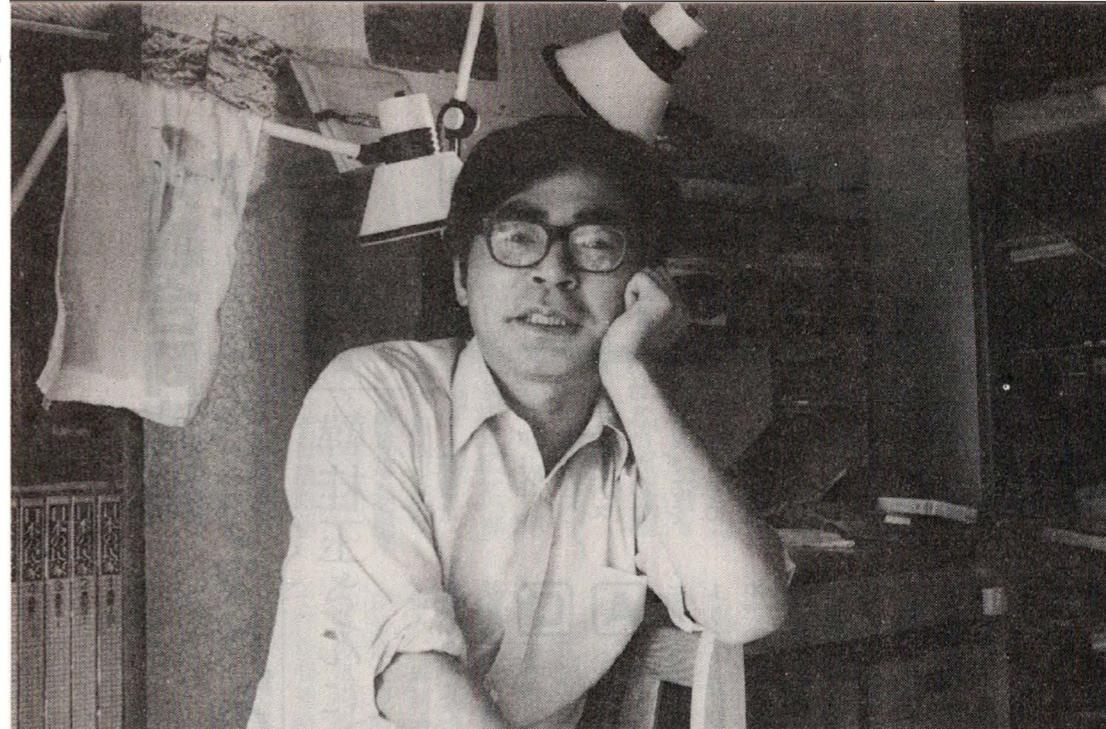
なんていうのはアホらしくて（笑い）。
「うちは」とか、「うちの会社は」って
言葉あるでしょ。ああいう意識って全く
ないですね。じつに冷ややかだって言わ
れることあります。一種の近代主義なの

生きがいは何ですか?」ってあるでしょ。オレは何だって考へると「仕事です」っていうのはものすごく抵抗あるんだよね。もう少しいいことのために生きてきたんじゃないのかなって思いながら、やっぱり仕事だつたなって思つんだけど(笑い)。結局、「わからない」っていう欄があるでしょ。いつもあそこにしますね。家族のためつていつたつてウソくなくてしょうがないし、子どものためつていうのも、考えたら良かつたことは全部女房がやつてて、オレはまわりでウロウロしてただけ(笑い)。えらそなこと言へない。

きはやお 1941年東京生まれ。東映动画に入りアニメーターとなる、のちに演出。参加代表作『太陽の王子ホルス』、『アルプスの少女ハイジ』、『未来少年コナン』、『ルパン三世・カリオストロの城』、『风の谷のナウシカ』等。

テメエのことばかり考へてるつて。
所属している集団をいいスタッフだな
つて考へることはもちろんあります。つ
まり、会社が問題じゃなくて、どういう
場所にどういう人間が集まれるかってい
うことを一所懸命探してたから、会社の
ことをかまつていられなくなるんですよ。
ひとつは会社が儲かることが（自分たち
や映画の）未来につながるとは思えない
わけね、結局。でも結果的には会社人間
だ、仕事中毒だつて言われたらその通り
なんで、仕事をしたいし、いい仕事、好
きな仕事をと思って場所も変えた。会社
を四つくらい変わったかなあ。四つやめ
て、五つめは行くところなくなっちゃって、
とうとう自分の会社にいるけど（笑い）。
よくアンケートなんかで、「あなたの

馬力）で作ろううと思つてゐるんです。ナウシカのあと、アニメを続けて作ろううつていうことで、現代の日本を舞台にして、高校生が出てくるような、今あまりはやらない、希望を語るようなアニメを作れなかつて進めていたんです。けれど企画がとん挫して、代りに現実の日本の町、柳川っていう町でいろんな人たちがやつてきたことのほうがあまりにも素晴らしいんで、記録映画にしようつていうことになつたんです。この二月からクラシック（撮影開始）することになつて、今、内に口は出さないとカッコイイこと言つてゐるんですが（笑い）。日本人と水がどういうふうに関わってきたかということを中心にして、今までの問題、それか



みやさき はやお 1941年東京生まれ。東映动画に入りアニメーターとなる、のちに演出。参加代表作『太陽の王子ホルスの大冒険』、『アルプスの少女ハイジ』、『未来少年コナン』、『ルパン三世・カリオストロの城』、『風の谷のナウシカ』等。

要するに足元を見るつていうことじやないかと思う。実際、運動をやってどうのこうのとか、山奥で自給自足で晴耕雨読で暮すとか、あこがれはするけど自分にできっこない。映画でカッコイいこと言つたつて、現実に何やってるかつていうと、アニメーションって現代の一番良くなき生き方の先端ですから。一日中あぐらかいて机に向かってゴソゴソやって電気使って、タバコの吸い過ぎでいつも舌はヤニだらけ、目はショボショボ、胃袋はどんより重く、肩は石のように凝る（笑い）。そういうところに生きている人間ですから、自分のことは過大評価はいっさいできない。だからといって、足元を忘れてしまったような映画を作りた

人間の科学や技術と産業が結びついて今世の中あるでしょ。それが見落としてきたものっていうのが、土と人間の関わり方の問題なんぢやないかと思う。それで、根本的な基盤を失った時に人間は何をやるかっていうと、「つくば万博」に行つてはしゃぐしかないわけ。私は「バラ色の未来」なんてひとことも言いたくないです。テクノロジーの進歩によつて人間になんかこれ以上もたらせるとは思わないですね。

いまの問題っていうのは都市生活が持つてゐる問題なんですね。都市生活つて快樂原則で動いてるわけだから。いかに楽に便利に暮すかっていうことでしょ。でも追求すればするほどどうも淋しくてす

▼ 1月 8 日付『朝日新聞』

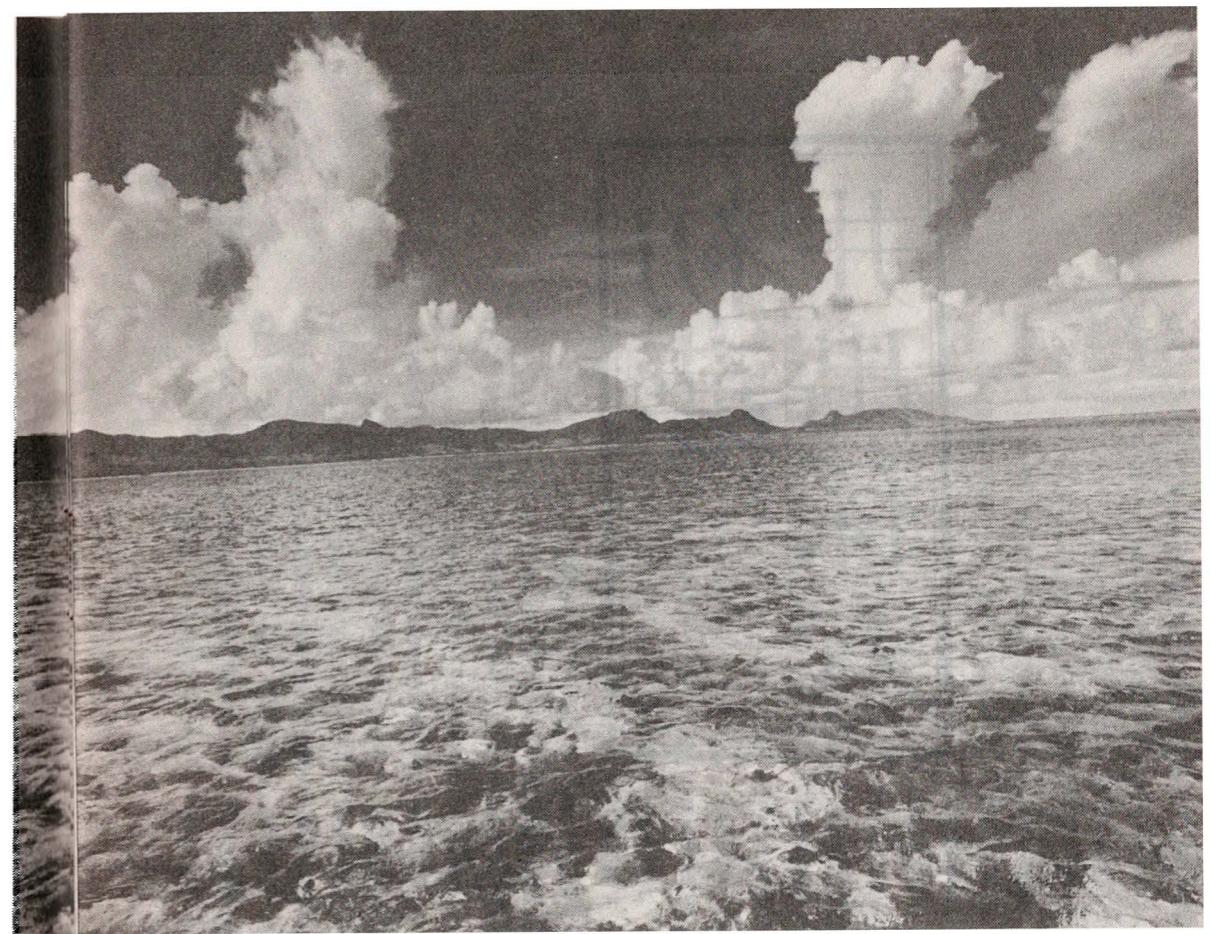
自保の海が殺される!

八重山・白保の海を守る会
仲村馨

心の中に、ただ後悔だけが残った。

白保で出会った「竜宮城の世界」

写真/
小橋川共男



生えるアオサを探っていた。

「なんでこんなにすばらしい海を!」

「ああやつて一人のおばあさんが採つたアオサだけで一日に一万千円以上になるんだ」「白保の海はまさに『魚がわく海』という表現がピッタリのところだ。成人した男がモリ一本で、十分家族を養つていけるよ」海人の一人で真黒に日焼けした初老のおじさんが、そう語ってくれた。彼はその他にも、どれだけの大きさの魚がどれるかということを身ぶり手ぶりを交えて話し続ける。しかし、誇らしげにうれしそうに話す彼の表情が突然、とてもさびしい表情に変わった。そしてつぶやく。

「なんでこんなすばらしい海を埋めてしまおうとするんだろうねえ」

各地へ急速に広がる反対運動

この、世界でも一、二を競うほど美しいといわれるサンゴ礁の群生する白保の海を、幅三〇〇メートル、長さ三キロメートルにわたり埋め立て、二五〇〇メートルの滑走路を有する空港をつくるというのが、新石垣空港建設計画である。新空港の建設理由としては、①本土直行便による産業の

振興 ②観光産業の振興 ③交通の便の改善 ④新空港建設事業による地域の繁栄 ⑤現空港の危険性、などをあげている。それに対し地元の白保部落の住民は、海がつぶされ、サンゴを死滅させてしまうことに対する自然保護の立場、騒音公害、住民の生活権の破壊、軍事利用の懸念などから反対運動に立ち上がった(地元住民の九四%の人が反対の立場を示している)。そしてその反対運動は石垣島全体、沖縄本島、日本本土へと急速に広がり、現在では、そのサンゴ礁の価値の高さから、世界各地からも関心が持たれている。

誠意ある話し合いもなきまま

市、沖縄県、そして日本政府は、一番の被害を受けた地元住民に対し、これまで一度も直接的な誠意ある話し合いの場を設けていない。また、具体的な環境アセスメント、経済アセスメントも提出できずにいる。にもかかわらず、八四年九月には、機動隊を導入して、三日間にわたる埋め立て申請のための環境調査を強行した。そしてこの間に反対派の三名を不当逮捕し、うち一人を頭蓋骨骨折の重傷にい

たらしめたのである。

この新石垣空港建設問題は、決して『遠い南の島での出来事』ではないはずだ。沖縄で前例をつくった不当なやり方が、やがて全国各地へ波及していくこととなる。これまでの歴史からも明白なことだ。さらに多くの人々が、この問題を自分の身近にひきよせて考え、関心を持ち続けることを願っています。

●支援・カンパの送り先●

新石垣空港建設阻止委員会
郵便振替 鹿児島二一五四六六
代表 迎里 清

電話 ○九八〇八一六一七一〇一

うたうたうたうたう

中曾根がレーガンに

惚れたのは

(「十九の春」のメロディで)
作詞 タケちゃんバンド
&沖縄研究会

中曾根がレーガンに惚れたのは同じ戦争好きの間がら
反共、反共といいながら
軍備拡大するばかり

レーガンが中曾根に惚れたのは海峡封鎖にシーレーン
不沈空母で守るのはアメリカとレーガンのことばかり

巡航ミサイル トマホーク
グリーンベレーに海兵隊
今でもまだまだ沖縄は
いくさの島だよ 基地の島
(もと歌)

私があなたに惚れたのは
ちょうど十九の春でした
今さら離縁というならば
もとの十九にしておくれ
(84年11月11日、反核ライブ・
トマホークの料理法より収録)



トマ喰い虫

「反トマホーク運動は反安保をおろしたのかって批判があるんだけど、どう答えますか」

「おろしてはいない、というだけじゃあダメなんでしょう」

「うん。主張として掲げていても、げんに展開している運動の中から、反安保の視点がなくなっていると」

「うだうだとするとむつかしいな。反安保を堅持しているという運動も、主張に反安保を掲げる以外に、

これぞ反安保だといふのをつくりだしているとは思えないから」

「そうだね。かりに基地へむかうことの条件とするなら、反トマホークだけ十分反安保だ」

「だから、むしろ、反トマホークのはばひる主義が『あぶない』つてのが批判の中味じゃないかな」

「はばひるを求めるあまりの無操作というわけか。もともと小さくやることにのみ訓練されているボクらだから、その心配はよくわかる(笑い)」

「だからすべりどめをつて言った

ら、あぶないところまで近づいてもいのに、そんな心配は早いってTさんに言われたね」

「つまり、ボクらがはばひろくつて言つても言わなくつても、そんなに変わらないってことさ」

「ただこういう違いはあるかな。ボクらは、反核は反安保でなければならぬと、運動の入口で反安保のパスポートの提出を求めるこ

とはしない、と」

「反核はこうあるべきという論がにぎやかだった82年。あれが無い、これが無いと、反核の足りない点を指摘するのではなく、まず自分

の反核を語れとYさんが言つてい

たんだけど、そうやって自分の反核を語りはじめた人たちは、ごく

自然に反安保でもあるという反核をつくり出しているんだってこと

にもっと目を向けてほしいね」

「ヨコスカの『草の根署名』の人たちが出た、カールビンソン入港反対の意見広告の『私たちも、

というところが希望なんだ』(に)

第五回全国会議
5月2日(土)・3日(日)

編集者

『トマ喰い虫』改装2号(通刊7号)
1985年2月10日発行 頒価250円
発行 トマ喰い虫社
〒112 東京都文京区春白
1-8-6 中森ビル2階
電話 03・813・1953
郵便振替 東京6-136148
(口座名 トマホークの配備
を許すな!首都圏運動)

トマ喰い虫とは、横須賀の久里浜中学生が、考え出したトマホークをたべてしまう生き物です。反トマホーク運動のマスコット。

へ訂正とおわび>前号(改装1号)
の8頁に「版画・和田浩(石川県)」
とあります。これはまちがいで
す。おわびして訂正します。

・殺人集団「グリーンベレー」の
北海道ニセコ地区での雪中訓練は
反核反原発全道住民会議などの闘
いによって中止に追い込まれた
(1月18日)。

この号の編集に参加した人
新倉裕史、加納明、梅林宏道、大橋
成子、山鹿順子、林夏子、大久保青
志、今井明、高木仁三郎、井上年弘
佐藤正兵、高幣真公、相馬正男、井上
澄夫

へおたよりください>同封のハガキ
で感想、意見、アイデア、各地の報
告を寄せて下さい。待ってるよ!

